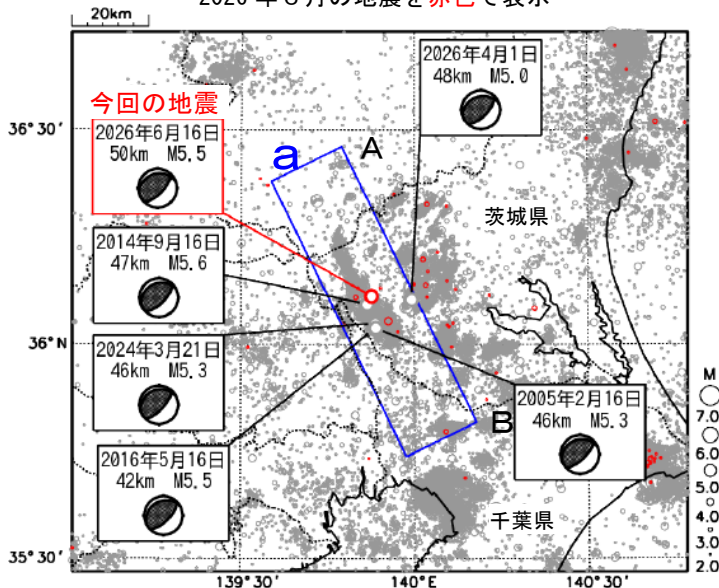
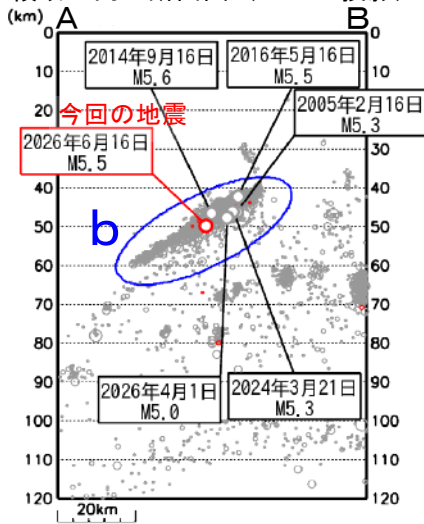


6月16日 茨城県南部の地震

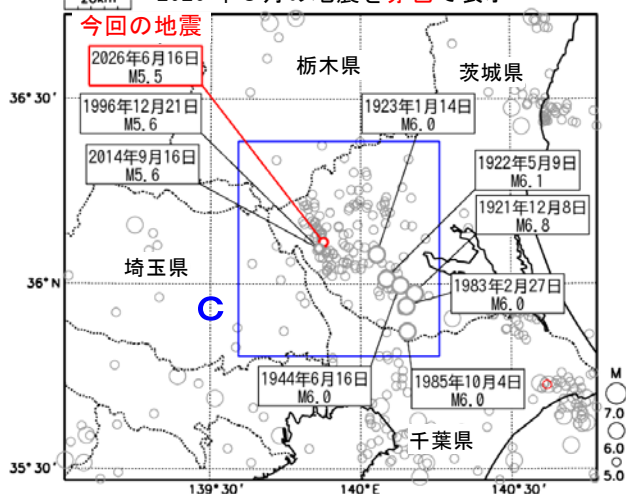
震央分布図
(1997年10月1日～2026年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
2026年6月の地震を赤色で表示



領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図
(1919年1月1日～2026年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
2026年6月の地震を赤色で表示

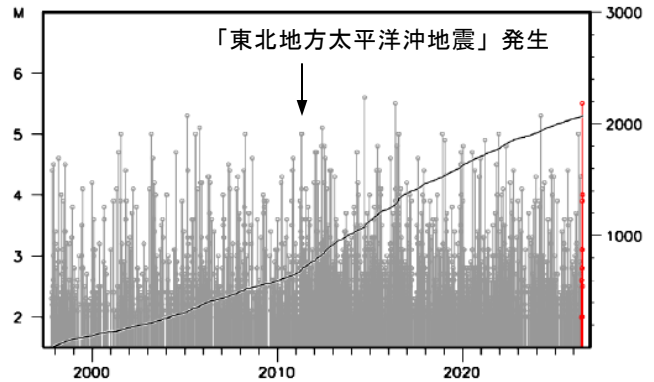


2026年6月16日19時46分に茨城県南部の深さ50kmでM5.5の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、発震機構が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震で、負傷者2人、住家一部破損20棟の被害が生じた（被害は、6月24日14時00分現在、総務省消防庁による）。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）はM5以上の地震が時々発生しており、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）発生以降は、より地震活動が活発になっている。2014年9月16日にはM5.6の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者9人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。また、1996年12月21日の地震（M5.6、最大震度5弱）、2014年9月16日の地震（M5.6、最大震度5弱）と、今回の地震と同程度の規模の地震がほぼ同じ場所で発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

